

## ○ 「提出用エクセルB」の作成について

### 【①オープニング】 開始～00:15

この動画では、特定食品関連事業者減量計画書や2R取組等事業者報告書兼計画書の提出にあたり、使用いただくようお願いしている提出用エクセルBの作成方法について、ご説明します。

### 【②「提出用エクセルB」の構成について】 00:16～01:12

この動画では、特定食品関連事業者減量計画書や2R取組等事業者報告書兼計画書の提出にあたり、使用いただくようお願いしている提出用エクセルBの作成方法について、ご説明します。

まず、提出用エクセルBの構成についてご説明します。

このエクセルファイルは、大きく3種類のシートで構成しており、1つ目が事業者の皆様に入力していただく入力シート、2つ目が2R制度や特定食品制度の報告書の様式のシート、3つ目が本市がとりまとめの際に使用するシートとなっています。

なお、本市のとりまとめシートは非表示にしています。

赤枠で囲っている入力シートには、事業者の基本情報や、ごみの発生量、取組内容等を入力いただくシートと、市内店舗の一覧を入力いただくシートの2種類があります。

入力シートに事業者の皆様が必要事項を入力すると、入力された情報が自動的に各制度の様式シートや本市が集計用に使用するまとめシートに転記されます。

### 【③入力シートの機能】 01:13～01:29

自動転記のイメージですが、図のように、入力シートに入力いただいた必要事項を各様式に転記するように設定しています。

また、各様式シートについては、印刷や各制度の報告内容の確認に使用していただくことができます。

### 【④提出用エクセルBの提出について】 01:30～01:56

次にメールでの提出についてご説明します。

作成いただいた提出用エクセルBについては、ご覧の資源循環推進課のメールアドレスに送付いただくことで両制度の担当者にまとめて報告書を提出いただくことが可能です。

なお、ご提出にあたっては、本市のとりまとめのため、PDF等の別のファイル形式に変換せず、エクセルファイル形式での送付をお願いします。

**【⑤提出用エクセルBの入力方法について（入力シート）】 01:57～10:36**

次に提出用エクセルBの入力方法についてご説明します。

画面右上のオレンジ色の箱書きをご覧ください。

この入力シートでは、薄いオレンジ色に塗っている欄と青色に塗っている欄が、事業者の皆様にご入力いただきたい欄です。薄いオレンジ色の欄は、文字や数字を入力していただく欄、青色の欄はプルダウン方式で選択肢を選んでいただく欄になっています。

この動画では、ある程度入力した状態で操作、ご説明していきます。

まず、提出日や事業者、連絡窓口担当者の情報を入力いただきます。

次に、計画年度や屋号等の名称、業種を入力いただきます。

計画の年度については、作成時点の日付に合わせて年度が選択できます。この動画の作成日時は2026年のため、2026～2023年までが選択できる状態になっています。

作成時の日付が2027年になると2027年を選択できるようになります。

そのため、作成したエクセルファイルを手元に保存しておいていただければ、次の年度に作成いただく際には、前年度のファイルをコピーして、廃棄物の発生量や取組の実施状況など時点修正が必要な事項のみ修正していただくだけで作成することができます。

次に業種については、事業者の主たる業種を選択してください。

「主たる業種分類」を選択すると「主たる業種分類の詳細」を選択できます。

なお、小売業の店舗と飲食業の店舗の両方を経営されているなど、複数の業種を営んでいる場合は、業種ごとに報告書制度の対象となる面積要件に該当するかをご確認いただき、該当する業種全てについて、それぞれ報告書を作成いただく必要があります。

この動画では、小売業の食料品スーパーマーケットを選択してご説明します。

業種を選択すると、一番上のところで、どの書類の提出が必要かが表示

されます。

今回であれば、特定食品制度の報告書、2 R制度の報告書、店舗等の一覧、そして店頭回収をされている場合は、店頭回収の様式を提出する必要があることが分かります。

次に前年度の廃棄量の実績などを入力いただきます。

事業系一般廃棄物は、「燃やすごみ」と「再生利用可能なもの」の大きく2種類に分かれています。項目に沿って各廃棄物の再生利用量と廃棄量を入力いただきます。

「再生利用可能なもの」の「廃棄量」については、性状の問題でリサイクルできなかった場合など、分別後に廃棄した量が分かっている場合のみ、入力いただければ結構です。

発生量は自動計算するよう設定しており、その他、廃棄量の合計や再生利用率なども自動計算するようにしています。

続いて、量の把握方法について、該当するものを選択してください。

把握方法は、「1 重量の実測、2 容積の実測、3 回収委託業者からの報告、聞き取り、4 購入量に基づく把握、5 その他」から選択してください。

なお、「重量や容積での実測」については、サンプルでいくつか測定し、推計を行っている場合も含まれます。

次に再生利用の方法等ですが、回答内容としては、「主な再生利用の方法」と、「主な処理施設等」の二種類になります。

ダンボールなどの紙類については、再生利用の方法を「紙製品・固形燃料・その他」から選択いただき、主な処理施設等については、「古紙卸売業者、問屋、製紙工場、自己処理、その他」から選択してください。

生ごみについては、再生利用の方法を、「肥料化、飼料化、減量化、その他」から選択いただき、主な処理施設等については、「自己処理や該当する施設名、なければ、その他の施設」を選択してください。

なお、再生利用していない、再生利用量が0の場合は、空欄で結構です。

次に産業廃棄物の再生利用量や廃棄量の実績、量の把握方法を入力してください。

なお、缶、びん、ペットボトルについて、ベンダー回収の場合は、再生利用量、廃棄量、量の把握方法の入力は不要となります。

そのほか、記載することがありましたら、備考欄にご入力ください。

次に提出いただく年度の廃棄物の見込みをご入力いただきます。

発生する廃棄物について、このように丸を選択いただき、再生利用量と廃棄量の年間の見込みをご入力ください。発生量と再生利用率の見込みは自動計算します。

次に「廃棄物の発生抑制等に係る取組の実績及び計画」の入力です。

各項目に記載の内容について、前年度の実績の評価や今年度の計画の見込みを選択いただきます。

様々な項目を掲載していますが、実績については、「徹底して実施のS」から「未実施のD」の中から該当する評価を選択いただきます。

選択の際の目安になるように、実施率の目安も記載していますので、参考にしてください。

複数店舗の取組をまとめて報告いただく場合は、だいたいどれくらいの割合の店舗でできているかが目安となります。

なお、この実施率については、あくまでも選択肢を選んでいただきやすくするための目安ですので、あまりとらわれ過ぎず、担当者の主観に基づき、選択肢を選んでいただいで大丈夫です。

また、該当がない取組項目については、「ハイフン」を選択していただきます。入力前のエクセルでは、入力欄の全ての項目に「ハイフン、該当なし」を入力しています。

今年度の計画については、前年度実績と比べて、どうする予定、見込みかを「強化・新たに実施の二重丸」から「休止・廃止・未実施のバツ」の中から選んでいただきます。

実際に入力してみます。例えば、最初の「再生利用可能な紙の分別」の項目について、全店舗のうち8割程度の店舗で実施できているということであれば、「Aのおおむね実施」を選択、計画については、前年度と同様に実施であれば「丸」、8割以上を目指して、より強化してやっていくということであれば、「二重丸」を選択してください。

以降、それぞれ記載している項目について、実績と計画を選択いただき、

作成をお願いします。

また、今回は小売業を選択しましたので、飲食店業で回答していただく項目はこのようにグレーになるよう設定しており、ご回答いただく必要はありません。

小売業の項目において、区分7のプラスチック対策関連の中の資源循環の推進に「店頭回収の実施」の項目があります。

店頭回収を実施している場合は、実績の評価において、SからCの中から適切な選択肢を入力いただき、入力シートが一番下にある資源物の店頭回収実施状況の欄に、店頭回収されている品目について、年間の回収量をご入力ください。

重量が分からない場合は、何リットルの袋で何袋回収したなどの情報を、右側の備考欄にご入力ください。

なお、この店頭回収の取組について、「未実施のD」や「該当なしのハイフン」を選んだ場合は、店頭回収実施状況の欄は、このようにグレーに塗りつぶされます。

また、小売業の方については、レジ袋の辞退率もご入力いただきますようお願いいたします。

レジ袋の辞退率の算定方法については、京都市情報館の「提出用エクセルB様式の作成方法等について」のページに掲載している、「Q&A」をご参照ください。

基本情報やごみ量等の入力方法については、以上となります。

#### **【⑥提出用エクセルBの入力方法について(店舗等一覧)】 10:37~11:52**

続いて、「店舗等の一覧」の入力シートについて入力方法をご説明します。

こちらが店舗等一覧の入力シートになります。

店舗等の一覧には、選択された業種の店舗について、京都市内に展開されている全ての店舗の情報をご入力ください。

なお、小売業と飲食業の両方の店舗を運営されている場合は、選択された業種の店舗のみご入力ください。この動画の場合、小売業を選択していますので、小売業のみ記載していただければ結構です。

また、管理部門の事務所や物流センターなどは、店舗ではないため除きます。ほかにも対象から除く項目がありますので、詳しくは、Q&Aをご

参照ください。

薄いオレンジ色の欄には、文字や数字を入力いただき、青色の欄、行政区はプルダウンで選択して、作成いただきます。

この動画では既に入力していますが、入力いただいた店舗の床面積や店舗数などは自動で合算されます。

入力作業は以上です。ここまでご説明したとおり、入力シートに必要な事項を入力いただくことで、このようにそれぞれの様式に報告内容が自動的に転記されます。

#### 【⑦クロージング】 10:53～12:11

最後に、作成されたこのエクセルファイルを、メールに添付し、資源循環推進課の提出用メールアドレスに送付してください。

提出用エクセルBの作成方法等についてのご説明は以上です。最後までご視聴いただき、ありがとうございました。